

残念ながら、TAP ジャパン オープン 2022はキャンセルされました。

JASTAは、TTAP ジャパン オープン 2022で参加選手とカンファレンスを開催する予定でした。

これらの文書の内容は、2016年12月、2017年12月、2018年12月にTAP TAP World Foundationの代表理事
とヒューストンでの話し合いをまとめたものです。

これらの文書は、TAP Japan Open 2022の選手カンファレンスで配布される予定でした。

これらは決定内容ではありません。

お時間がありましたらご覧ください。

JASTAは日本から皆様の健康を祈っています。

ありがとうございます。

2022年5月

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

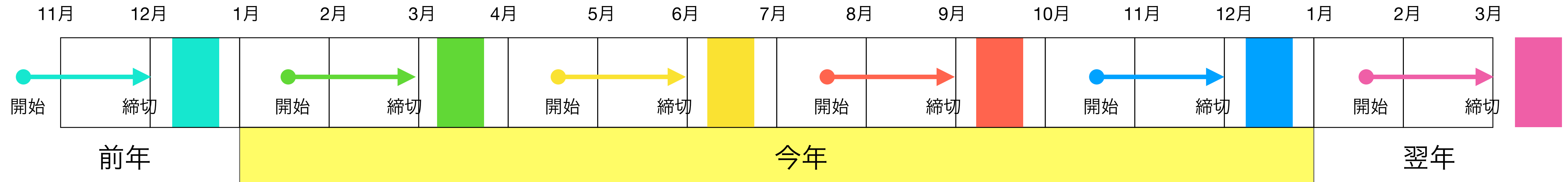
代表理事

柴谷健

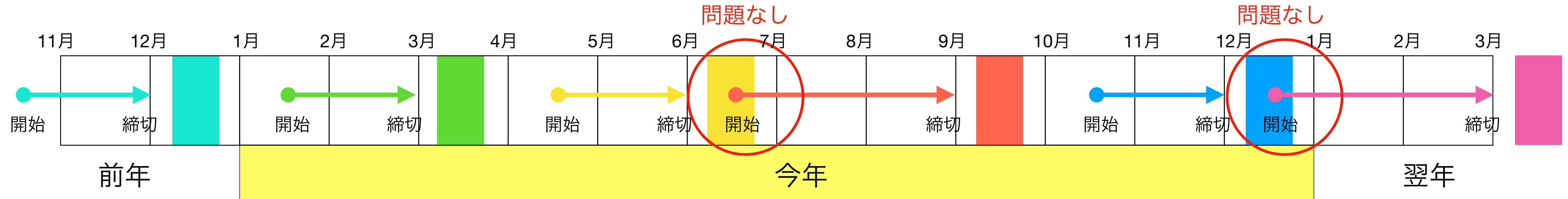
1年で各国、3ヶ月に1回、大会を開催することをお勧めします

(アジアでの大会が無い年)

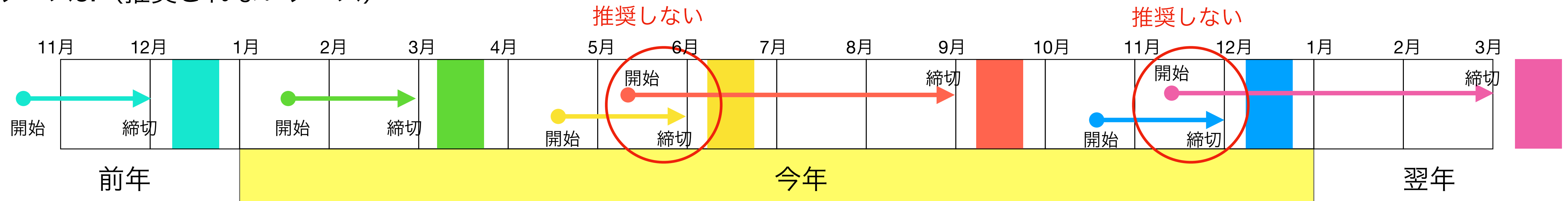
ケース1. (推奨ケース)



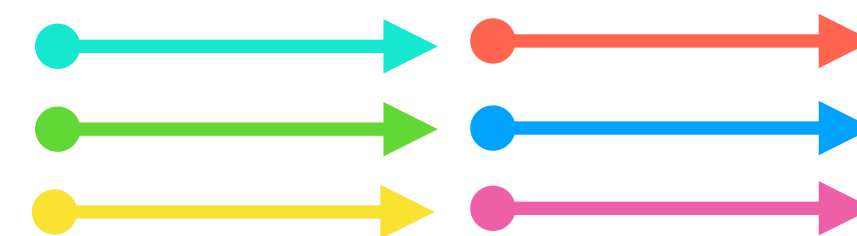
ケース2. (推奨ケース)



ケース3. (推奨されないケース)

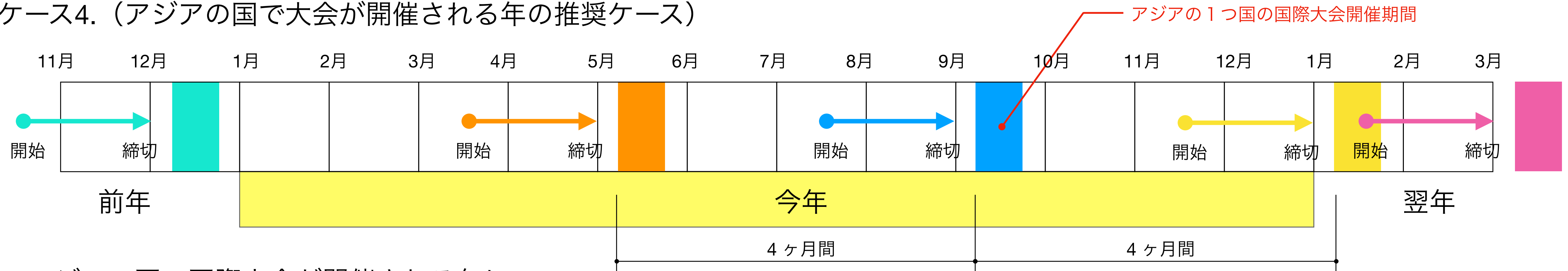


各国の国際大会開催期間



各国大会の申し込み期間

ケース4. (アジアの国で大会が開催される年の推奨ケース)



アジアの国で国際大会が開催される年について。

アジアの国で国際大会が開催される場合、前後の国際大会は4か月間隔で行う必要があります。

アジアで1回の国際大会が開催される場合、その年に限り3回の国際大会が開催されるように調整します。

これは、アジアへの渡航費の問題を解決するために考案されました。



オリンピック・パラリンピックスの年には、オリンピック・パラリンピックスの開催国が優先されます。

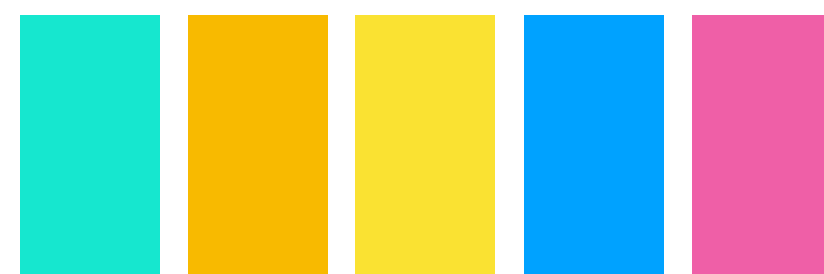
オリンピック・パラリンピックスの開催国は国際大会を開催してきました。

その理由は、障がい者立位テニスの注目が高まるためです。

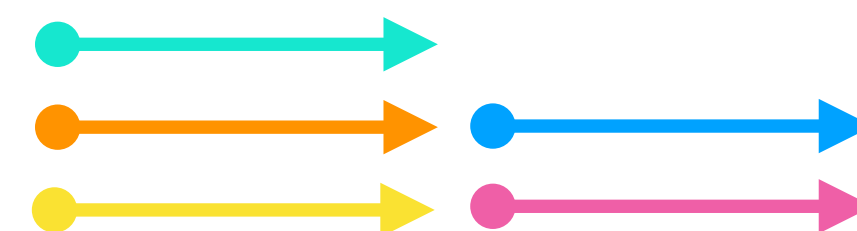
ブラジルオープンとは2016年に開催されました。

ジャパンオープンは2020年に開催される予定でしたが、中止となりました。

(ジャパンオープン2022もキャンセルされました)

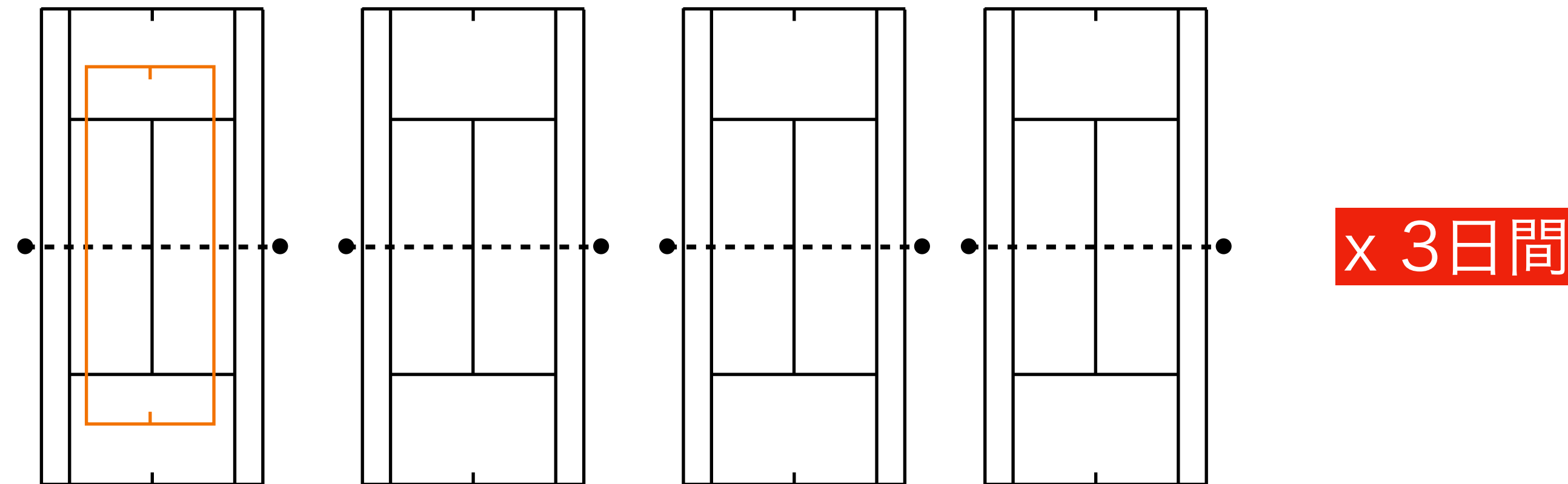


各国の国際大会開催期間



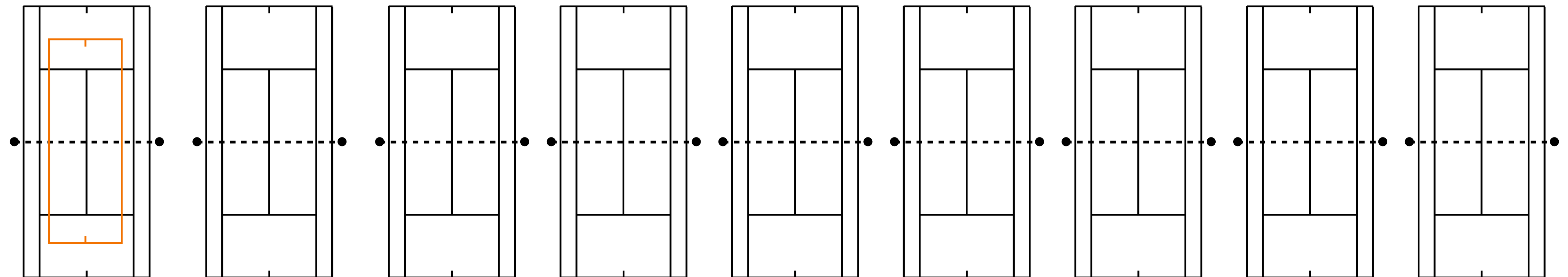
各国大会の申し込み期間

ケース1. (選手数25名以下)



最低3日間と最低4面のコートが必要

ケース2. (選手数40名以下)



最低3日間と最低8面のコートが必要

x 3日間



ハードコート



<https://www.wimbledon.com>

天然芝コート



クレイコート

グランドスラム・4大大会



カーペットコート



オムニコート
砂入り人工芝コート

障がい者立位テニス国際大会

選手はまた、各国のコートの仕様を体験する必要があります



Photo by Scott Carr



Photo by Scott Carr



Photo by Scott Carr

例、カテゴリーA1またはカテゴリーSU1

片方の上肢、片方の前腕の運動障がいに伴う機能的可動性を有する選手。

- 例、片方の腕または片方の手の切断をしている選手
- 片方の腕または片方の手の先天性欠損がある選手
- 片方の腕または片方の手の先天性奇形がある選手

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

このカテゴリー
は2016年から
2018年と現在ま
でA1で開催れて
います



Photo by Scott Carr



Photo by Scott Carr



Photo by Scott Carr

例、カテゴリーA2またはカテゴリーSL2

片方の膝下の運動障がいに伴う機能的可動性を有する選手。

- 例、片方の膝下を切断した選手
- 片方の膝下の先天性欠損がある選手
- 片方の膝下の先天性奇形がある選手

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

このカテゴリーは
2016年にAで、
2017年から2018
年と現在までA1で
開催れています



Photo by BRAZIL OPEN 2016



Photo by Scott Carr



Photo by BRAZIL OPEN 2016

例、カテゴリーA3またはカテゴリーSL3

片方の膝上の運動障がいに伴う機能的可動性のある選手。
両方の膝下の運動障がいに伴う機能的可動性を有する選手。

- 例、片方の膝上を切断した選手、片方の膝上に先天性欠損症のある選手、
- 片方の膝上に先天性奇形がある選手、
- 両方の膝下を切断した選手、両方の膝下に先天性欠損症がある選手、
- 両方の膝下に先天性奇形がある選手、

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

このカテゴリー
は2016年から
2018年と現在ま
でAで開催れてい
ます



Photo by Scott Carr



Photo by Hitoshi Izumi

例、カテゴリーB1またはカテゴリーSUL4

手と足の両方に運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

下肢と上肢の両方に運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

例、コート内の自立歩行機能が高程度の片麻痺、脳性麻痺がある選手。

（コート内を走る事が出来る選手）

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

脳性麻痺、片麻痺、四肢麻痺のプレーヤーの3～4のカテゴリを考慮する必要がありますが、
現在、分類の基準は明確ではありません。

このカテゴリーは
2016年にAで、
2017年から2018
年と現在までA1
で開催されています



Photo by Scott Carr



Photo by Scott Carr

例、カテゴリーB2またはカテゴリーSUL5

手と足の両方に運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

下肢と上肢の両方に運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

例、コート内の自立歩行機能が中程度の片麻痺、脳性麻痺がある選手。

（コート内を早歩きが出来る選手）

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

脳性麻痺、片麻痺、四肢麻痺のプレーヤーの3～4のカテゴリを考慮する必要がありますが、
現在、分類の基準は明確ではありません。

このカテゴリーは
2016年から2018
年と現在までAで
開催されています



Photo by BRAZIL OPEN 2016



Photo by Hitoshi Izumi

例、カテゴリーB3またはカテゴリーSUL6

手と足の両方に運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

下肢と上肢の両方に運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

例、コート内の自立歩行機能が低程度の片麻痺、脳性麻痺がある選手。

（コート内を歩く事が出来る選手。選手は杖の使用は可能）

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

脳性麻痺、片麻痺、四肢麻痺のプレーヤーの3～4のカテゴリを考慮する必要がありますが、
現在、分類の基準は明確ではありません。

このカテゴリーは
2016年と現在ま
でBで開催されてい
ます



Photo by Scott Carr



Photo by BRAZIL OPEN 2016

例、カテゴリーCまたはカテゴリーSU7

両方の手または両方の上肢の運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

例、両方の上腕または両方の前腕を切断された選手。

両方の上腕または両方の前腕の先天性欠損のある選手、

両方の上腕または両方の前腕の先天性奇形を持っている選手、

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

このカテゴリーは
2016年から2018
年と現在までAで
開催されています



Photo by BRAZIL OPEN 2016

例、カテゴリーDまたはカテゴリーSLU8

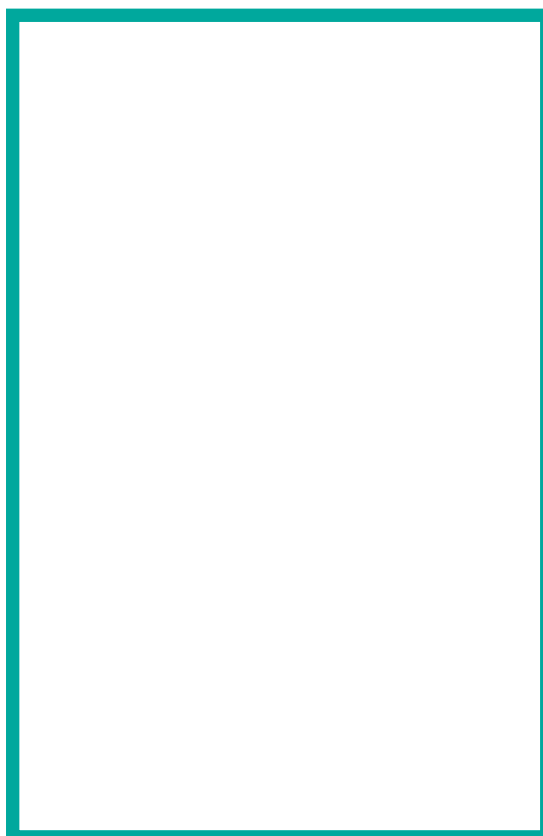
3つの肢又は手足の運動障がいを伴う機能的可動性を持つ選手。

例、2つの先天性上肢（手足）の欠損があり、1つの先天性下肢（手足）の欠損がある選手。

2つの上肢（手足）を切断切断され、1つの下肢（手足）切断された選手。

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

このカテゴリーは
2016年から2018
年と現在までAで
開催されています



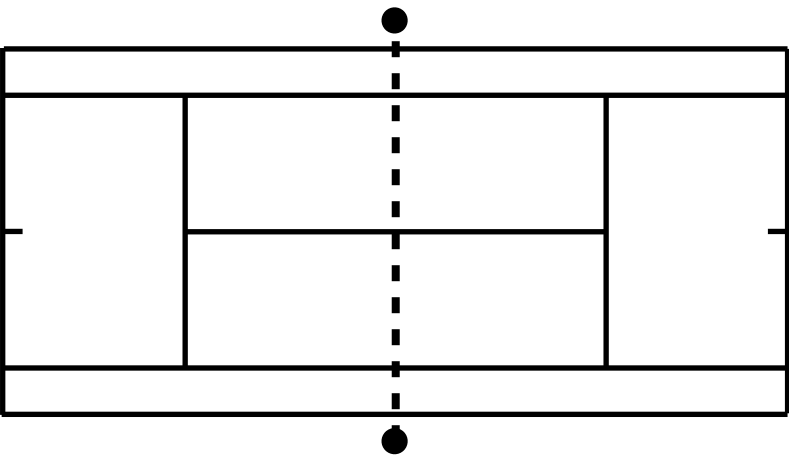
例、カテゴリーEまたはカテゴリーSS9

低身長で機能的な機動性を持つ選手。

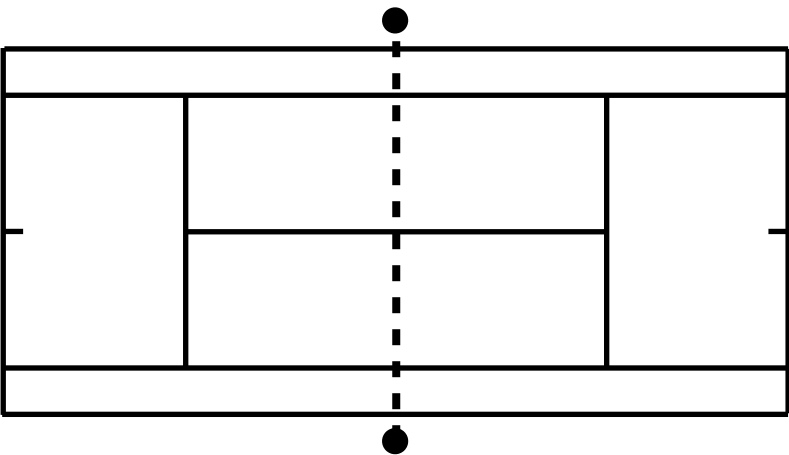
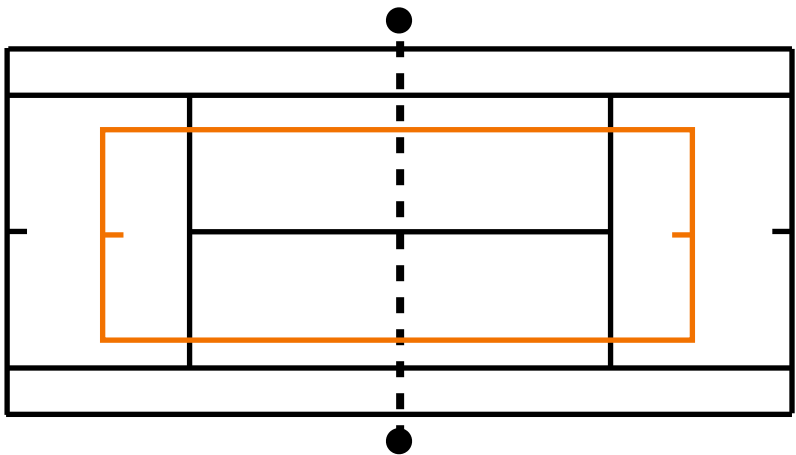
例、低身長症の選手。

各カテゴリーに2人以上の選手が参加する場合、そのカテゴリーは成立されます。

このカテゴリーの選手
は過去に参加したこ
とがありません

カテゴリー	A1 又は SU1	A2 又は SL2	A3 又は SU3
運動障がい レベル	More mildly (選手は走る事が可能)	More mildly (選手は走る事が可能)	More mildly (選手は走る事又は早歩きが可能)
例	片方の上肢又は片方の上腕の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。	膝下の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。	膝上運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。 膝下の両方の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。
コートサイズ (シングルス)	78フィート x 27フィート (全面) 23.8m x 8.2m (全面) 		
ボール	黄色のボール (ITF承認済み)		

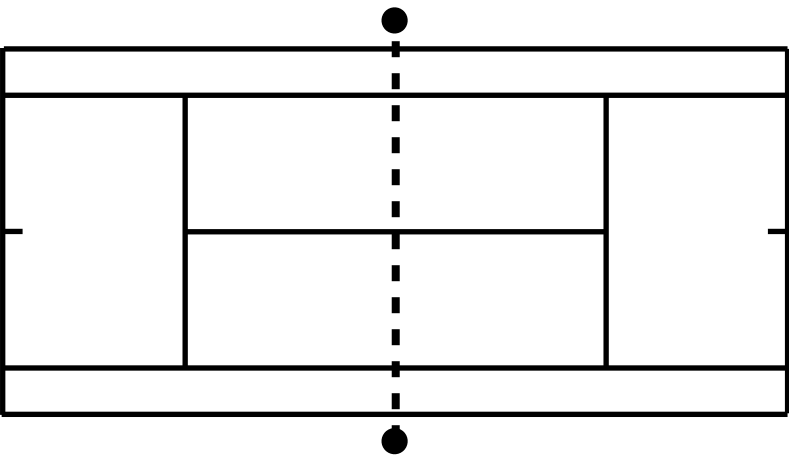
カテゴリーとルールはITFのPlay and Stayに基づいています。すべてのカテゴリーはシングルスで1つのバウンドルールです。2007年2月、ITFは、世界中でテニスへの参加を増やすことを目的としたグローバルキャンペーンを正式に開始しました。Tennis Play and Stayキャンペーンは、テニスを簡単で楽しく健康的なものとして宣伝することを目的としています。

カテゴリー	B1 or SUL4	B2 or SUL5	B3 or SUL6
運動障がい レベル	More mildly (選手は走る事が可能)	Mildly (選手早歩きが可能)	Moderately (選手は歩く事が可能)
例	より軽度の片麻痺、及びより軽度の脳性麻痺。	軽度の片麻痺、及び軽度の脳性麻痺。	中等度の脳性麻痺、中等度の片麻痺、中等度の四肢麻痺、多肢の先天性奇形。
コートサイズ (シングルス)	78フィート x 27フィート (全面) 23.8m x 8.2m (全面) 		60フィート x 21フィート 18.3m x 6.4m 
ボール	黄色のボール (ITF承認済み)		オレンジボール (ステージ 2)

カテゴリーとルールはITFのPlay and Stayに基づいています。すべてのカテゴリーはシングルスで1つのバウンドルールです。2007年2月、ITFは、世界中でテニスへの参加を増やすことを目的としたグローバルキャンペーンを正式に開始しました。Tennis Play and Stayキャンペーンは、テニスを簡単で楽しく健康的なものとして宣伝することを目的としています。

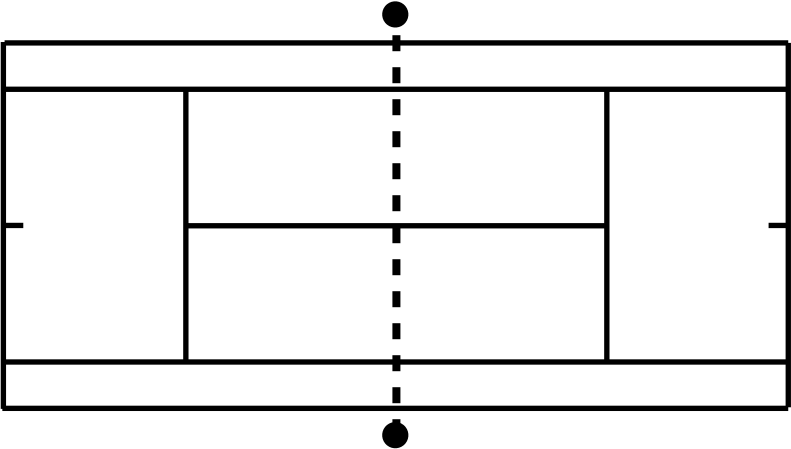
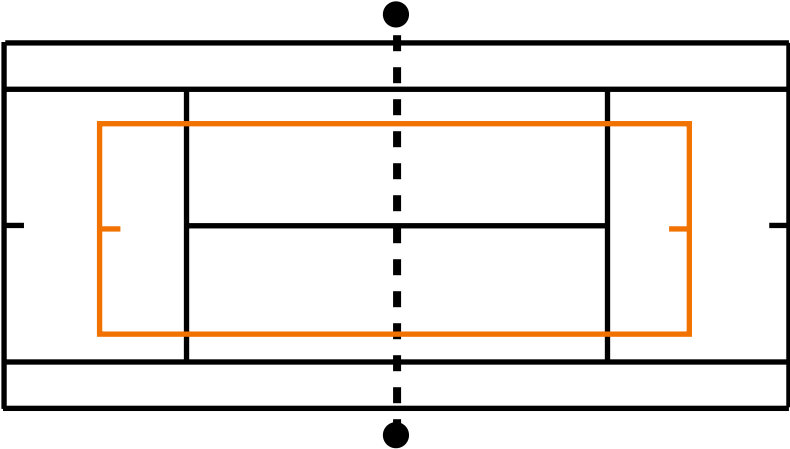
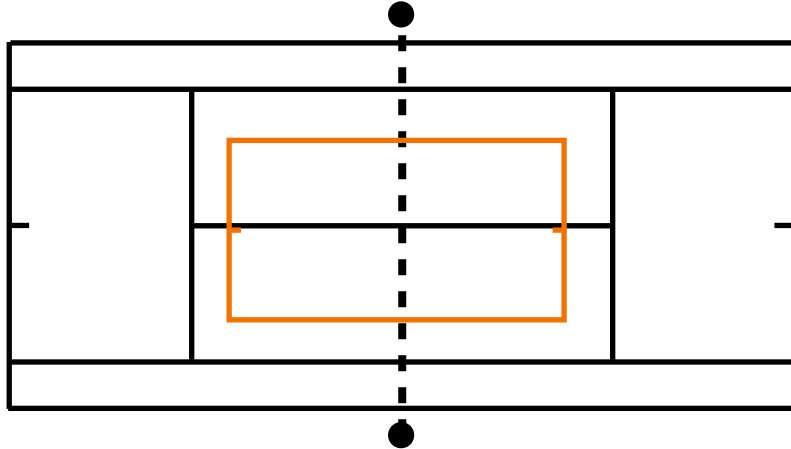
カテゴリB1、B2、B3について。脳性麻痺、片麻痺、四肢麻痺の選手の3〜4つのカテゴリーを考慮する必要があります。現在、分類の基準は明確ではありません。日本では、運動機能を測定してデータを収集しています。



カテゴリー	C or SL7	D or SUL8	E or SS9
運動障がい レベル	More mildly (選手は走る事が可能)	Mildly (選手は走る事又は早歩きが可能)	Mildly (選手は走る事が可能)
例	両方の上肢または両方の前腕の運動障害を伴う機能的可動性を持つ選手。	3つの四肢と手足の運動障害を伴う機能的可動性を持つ選手。	Players with dwarfism.
コートサイズ (シングルス)	78フィート x 27フィート (全面) 23.8m x 8.2m (全面) 		
ボール	黄色のボール (ITF承認済み)		

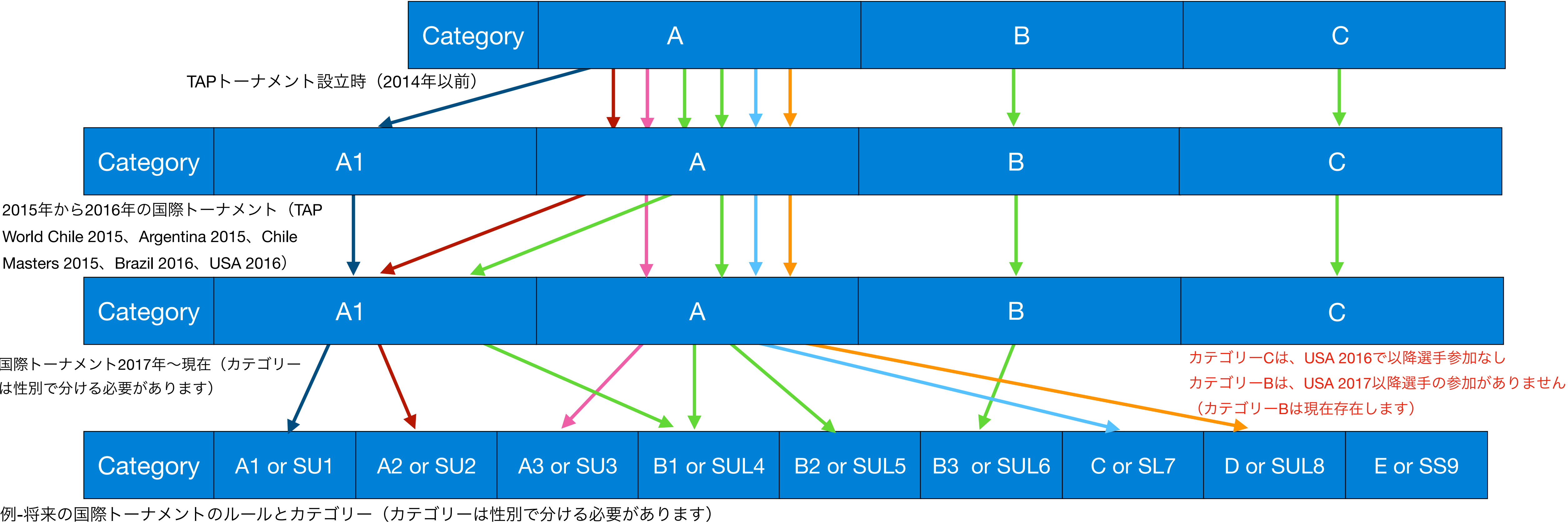
カテゴリーとルールはITFのPlay and Stayに基づいています。すべてのカテゴリーはシングルスで1つのバウンドルールです。2007年2月、ITFは、世界中でテニスへの参加を増やすことを目的としたグローバルキャンペーンを正式に開始しました。Tennis Play and Stayキャンペーンは、テニスを簡単で楽しく健康的なものとして宣伝することを目的としています。



カテゴリー	A1	A	B	C
運動障がい レベル	More mildly	Mildly	Moderately	Severely
例	片方の腕を切断、片方の腕または片方の手に先天性奇形、膝下の義肢装具着用、軽度の片麻痺、片麻痺、及び脳性麻痺	膝上の義肢装具着用、両方の上肢の先天性奇形、中等度の片麻痺、片麻痺、及び脳性麻痺	脳性麻痺、多肢の先天性奇形、片麻痺、四肢麻痺	重度の脳性麻痺、複数の手足の先天性奇形、片麻痺、四肢麻痺
コートサイズ (シングルス)	78フィート x 27フィート (全面) 23.8m x 8.2m (全面) 		60フィート x 21フィート 18.3m x 6.4m 	36フィート x 18フィート 11m x 5.5m 
ボール	黄色のボール (ITF承認済み)		オレンジボール (ステージ 2)	レッドボール (ステージ 3)

カテゴリーとルールはITFのPlay and Stayに基づいています。すべてのカテゴリーはシングルスで1つのバウンドルールです。2007年2月、ITFは、世界中でテニスへの参加を増やすことを目的としたグローバルキャンペーンを正式に開始しました。Tennis Play and Stayキャンペーンは、テニスを簡単で楽しく健康的なものとして宣伝することを目的としています。





- 上肢または上肢の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2018年にヒューストンのカテゴリーA1でプレーされました）
- 膝下の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2018年にヒューストンのカテゴリーA1でプレーされました）
- 膝上運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2018年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされました）
そして、膝下の両方の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2016年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされました）
- 片麻痺、脳性麻痺の選手。（2016年にカテゴリーBでプレーされ、2018年にヒューストンでカテゴリーA1、Aでプレーされてました）
脳性麻痺、片麻痺、四肢麻痺の選手の3～4つのカテゴリを考慮する必要があります。
- 両方の上肢または両方の前腕の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。（2018年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされてました）
- 三肢（手足）の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。（2018年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされてました）

例

05.-日本の運動機能評価について

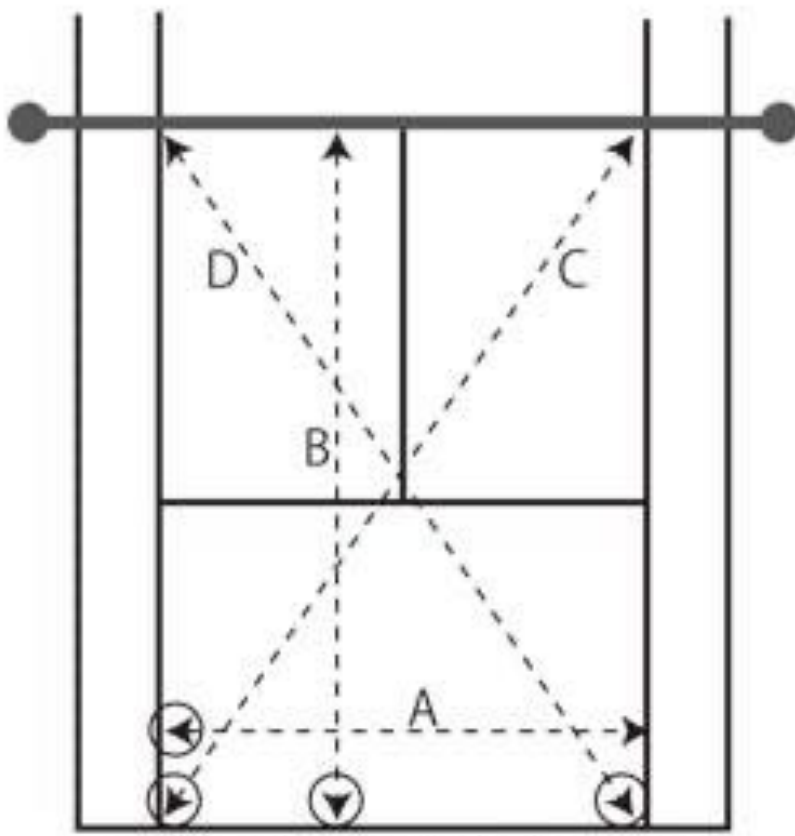
<日本でのテストケース分類>

「運動機能評価」+「TAPカテゴリー」

障がい者立位テニスは、障害者別に分類することで、より公平にプレーすることができます。
障がいだけで明確に区別できる場合もあれば、単独で判断するのが難しい場合もあります。
例えば、欠損と切断は明確に分類できます。
片麻痺や麻痺の場合、運動機能の制限の範囲が非常に広く、障がいの名前だけで判断することは困難です。
JASTAは、カテゴリー分けの最善の方法を調査するために、さまざまなデータを収集して分析します。

選手が移動するのにかかる時間を測定します。
A、B、C、Dの4つのルートがあります。
往復時間を測定します。
測定者はJASTA専属トレーナーです。
現在、JASATは、測定結果をカテゴリー分け基準として使用していません。
データを収集している最中です。

選手の安全のため、ハードコートのデーターは測定は行っていません。



※A-D 全てラケットを持って行う。○ = スタート点

A(左右) 往復	秒
クロスステップ無し	
B(前後) 往復	秒
後ろに下がる時の顔はネット方向・手でネットにタッチ	
C(斜め) 往復	秒
クロスステップ有り・手でネットにタッチ	
D(斜め) 往復	秒

計測日	年	月	日
氏名			
障がい名			
等級			
年齢			
備考			

担 当				カテゴリー





2016～2018年のTAP国際大会のポイントとランキング
各大会、各カテゴリー、累積ポイントではありません

ランキング	ポイント
1	2000
2	1200
3	960
4	720
5	630
6	540
7	450
8	360
9	320
10	300
11	280
12	260
13	240
14	220
15	200
16	180

ベスト 32 = 90ポイント
ベスト 64 = 45ポイント

例えば、同じランキングが複数選手が存在する場合
各大会、各カテゴリー、累積ポイントではありません

ランキング	ポイント
1	2000
2	1200
3	960
4	720
5	360
5	360
5	360
5	360
9	320
10	300
11	280
12	260
13	240
14	220
15	200
16	180

例えば、4人の選手が5位の場合、ランキングは5位、ポイントは8位
になります。5位以降は9位になります。

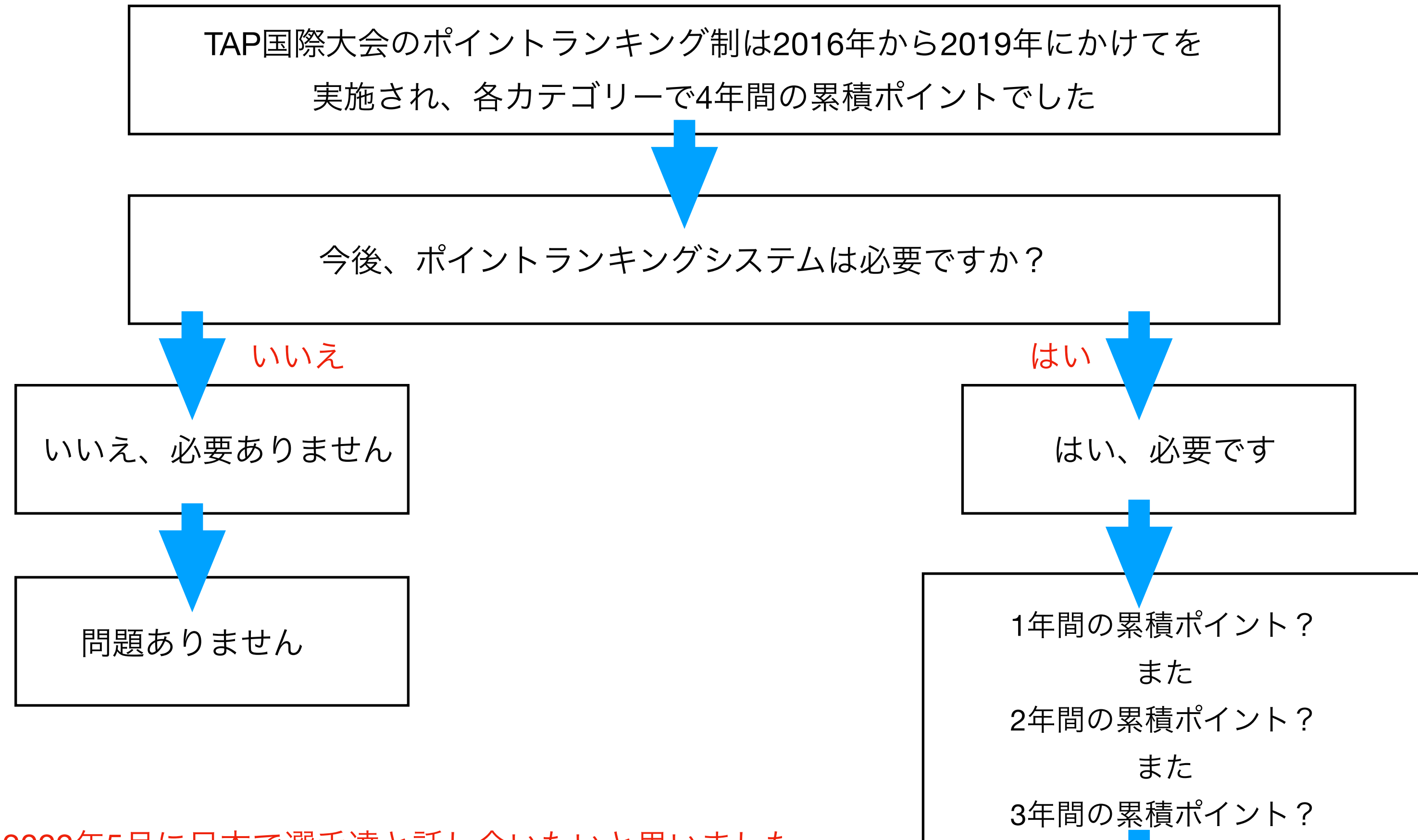
TAP国際大会のポイントランキング制は2016年から2019年にかけてを実施され、各カテゴリーで4年間の累積ポイントでした。

Category A1 INTERNATIONAL RANKING				
A1 A B C				
POS.	PLAYER	NAT.	POINTS	TOURNAMENTS
1.	Harald Yoni Kuchi		4750	9
2.	Artemio B. Sifow		4600	9
3.	Flemon Armas		4050	5
4.	Ivan Correia		4000	2
5.	Carl Mower		3450	4
5.	Gabriel Gomez		3200	2
6.	Roberto de Souza		3500	2
6.	Yasuhito Takamori		2500	2
7.	David Valesi		2400	2
8.	E. A. Schreierkugl		2250	9
8.	Isidoro Tashchukh		1900	9
9.	Kazuki Takano		2000	1
10.	Cynthia Hoffman		1900	2
11.	Sandra Strogosia		1800	9
12.	Carlos Salmen		1700	1
12.	Frederic Garcia		1700	1
12.	Eric Lof		1500	1
12.	Armando Pagliaro		1500	2
13.	Gonzalo Ramirez		1600	1
12.	Paulo Raposo		1500	1
12.	Thalia Rodriguez		1500	1
13.	Jett Clark		1400	2
14.	Carlos Lora		1300	1
14.	Julia Munk		1300	9
15.	Andor Ferdinand		1250	1
16.	Bien Wolfgang		1150	1
17.	Hiroshi Abe		1000	1
18.	E. A. Johnson		1000	1
18.	Joel Gasser		1000	1
19.	Greta Dand		900	1
20.	Fritz Gredler		900	1
21.	Johan K. Kocier		900	1
22.	Steve Grimes		650	1
23.	Jenselmo de Faria		400	1
24.	Rachel Johnson		400	1
24.	Unison Tanini		400	1
25.	Amy Mahon		250	1

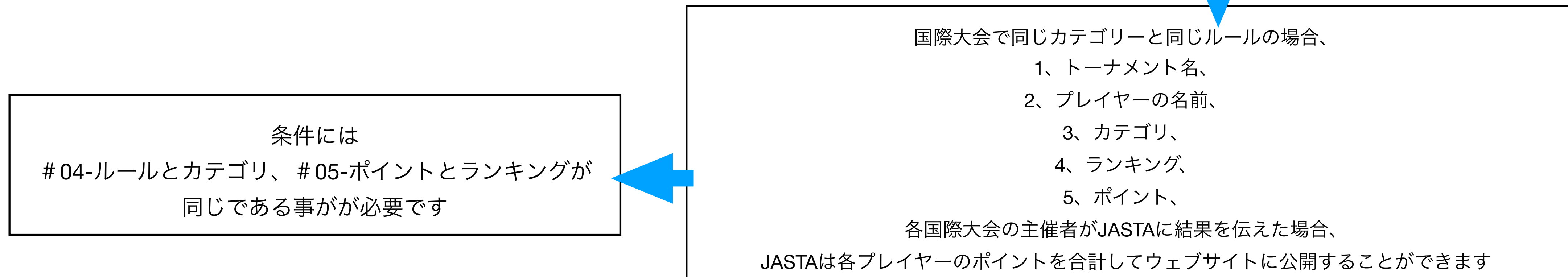
Category A INTERNATIONAL RANKING				
A1 A B C				
POS.	PLAYER	NAT.	POINTS	TOURNAMENTS
1.	Harold Yoni Kuchi		1000	4
2.	Jose Huerta		500	4
3.	Yanni Bouchonier		1800	4
4.	Jeff Bova		400	4
5.	David Sullivan		400	3
6.	Oliver Carrasco		300	4
7.	Andre Piro		300	3
8.	Nike N. N. N.		200	4
9.	David J. J.		1800	4
10.	Takashi Sakuma		2800	3
11.	Nicko Bessa		2800	5
11.	Noriel Hernandez		2200	2
12.	Jose Bouchonier		2100	4
13.	Andre B. B.		2100	3
14.	N. A. A.		2000	1
15.	Nicko Bessa		1800	1
16.	Oliver Bessa		1200	2
17.	Max Piro		1800	1
18.	Nicko Bessa		1800	1
19.	Jose Bessa		1300	3
20.	Jose Bessa		1200	1
21.	Claudio Bessa		1100	3
22.	Jose Bessa		1100	1
23.	Jose Bessa		1000	3
24.	Jose Bessa		1000	1
25.	Jose Bessa		900	3
26.	Jose Bessa		900	1
27.	Jose Bessa		500	3
28.	Jose Bessa		400	2
29.	Jose Bessa		300	1
30.	Jose Bessa		300	1
31.	Jose Bessa		200	1
32.	Jose Bessa		200	1
33.	Jose Bessa		150	1
34.	Jose Bessa		100	1
35.	Jose Bessa		50	1
36.	Jose Bessa		50	1

Category B INTERNATIONAL RANKING				
A1 A B C				
POS.	PLAYER	NAT.	POINTS	TOURNAMENTS
1.	Jose Luis Huerta		2250	2
2.	Gloria Marfit		2050	2
3.	Daniela Huerta		2000	1
4.	Yannet Baeza		1700	1
5.	Patricio Flores		1500	1
6.	Daniel Cortes		1350	1
7.	Hector Mello		1200	1
8.	Juan Hernandez		600	1
8.	Carl Williams		600	1

Category C INTERNATIONAL RANKING				
A1 A B C				
POS.	PLAYER	NAT.	POINTS	TOURNAMENTS
1.	Cristobal Pereda		2000	1
2.	Maria Luisa		1700	1



このページの内容については、2022年5月に日本で選手達と話し合いたいと思いました。



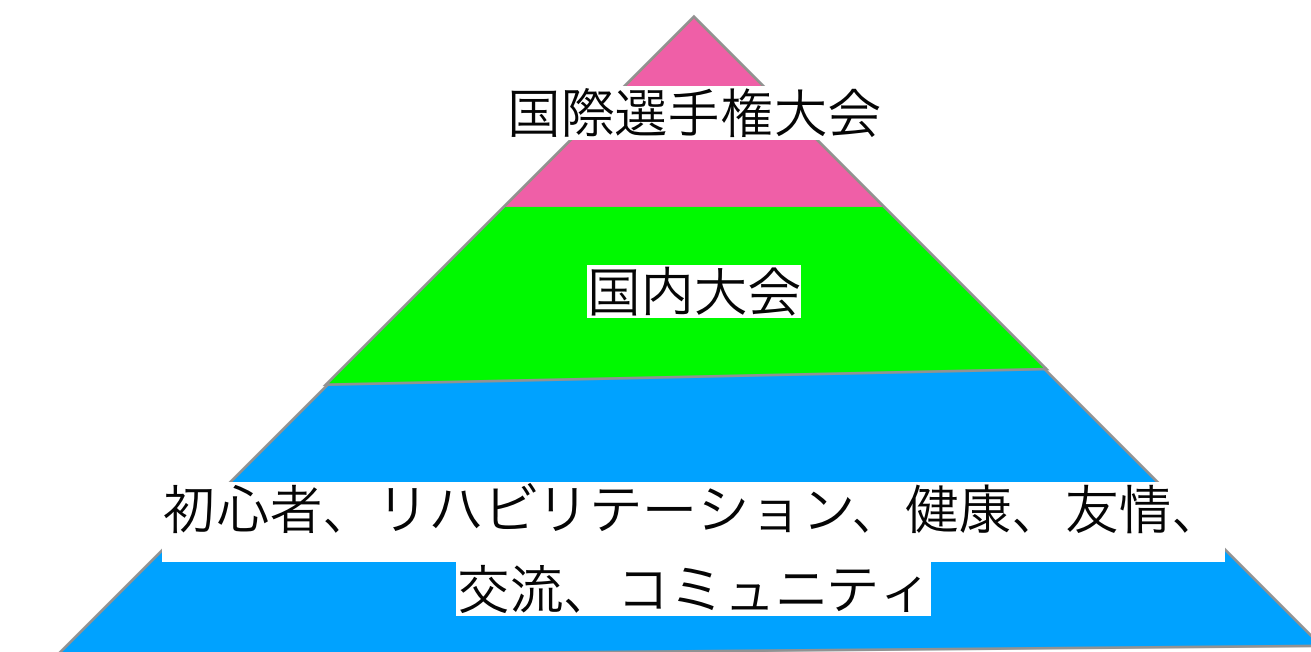
例、各国に約100人以上の選手が必要です。（選手を発掘して育成する必要があります）

国内トーナメントの充実

国内大会のトップ選手達

国際大会に参加

パラリンピックの種目入り、またはプロになることを目指している場合、国内大会は国際大会に近いルールとカテゴリーに準じる必要があります。ローカルルールが少ないほど良いです。



現在、日本ではローカルルールを少なく行なっています。

例、現在の日本の国内大会

カテゴリー	A1	A	B1	B
-------	----	---	----	---

Domestic tournaments in Japan follow Rules and Categories, which are similar to international tournaments. Since there are many players with paralysis, hemiplegia and quadriplegia in JASTA, category B is divided into two categories.

例、日本開催の国際大会

カテゴリー	A1	A	B
-------	----	---	---

カテゴリー	A1 or SU1	A2 or SU2	A3 or SU3	B1 or SUL4	B2 or SUL5	B3 or SUL6	C or SL7	D or SUL8	E or SS9
-------	-----------	-----------	-----------	------------	------------	------------	----------	-----------	----------

例、近い将来の日本開催の国内大会と国際大会

→

上肢または上肢の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2018年にヒューストンのカテゴリーA1でプレーされました）

→

膝下の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2018年にヒューストンのカテゴリーA1でプレーされました）

→

膝上運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2018年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされました）
そして、膝下の両方の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手（2016年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされました）

→

片麻痺、脳性麻痺の選手。（2016年にカテゴリーBでプレーされ、2018年にヒューストンでカテゴリーA1、Aでプレーされてました）
脳性麻痺、片麻痺、四肢麻痺の選手の3〜4つのカテゴリを考慮する必要があります。

→

両方の上肢または両方の前腕の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。（2018年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされてました）

→

三肢（手足）の運動障害を伴う機能的可動性を有する選手。（2018年にヒューストンのカテゴリーAでプレーされてました）

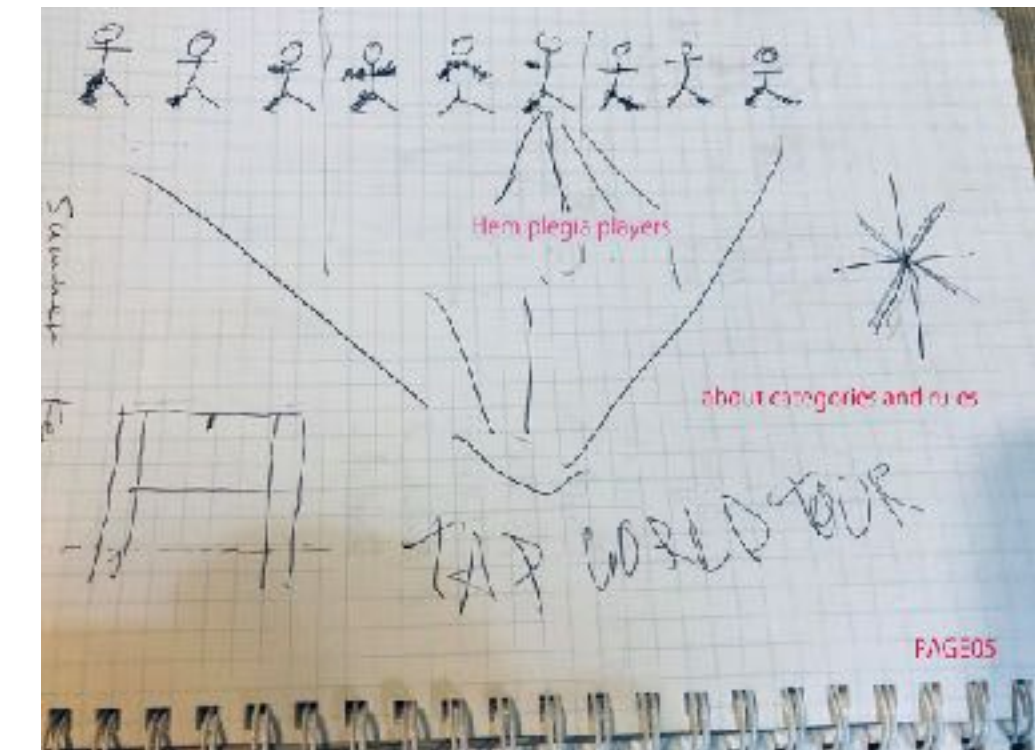
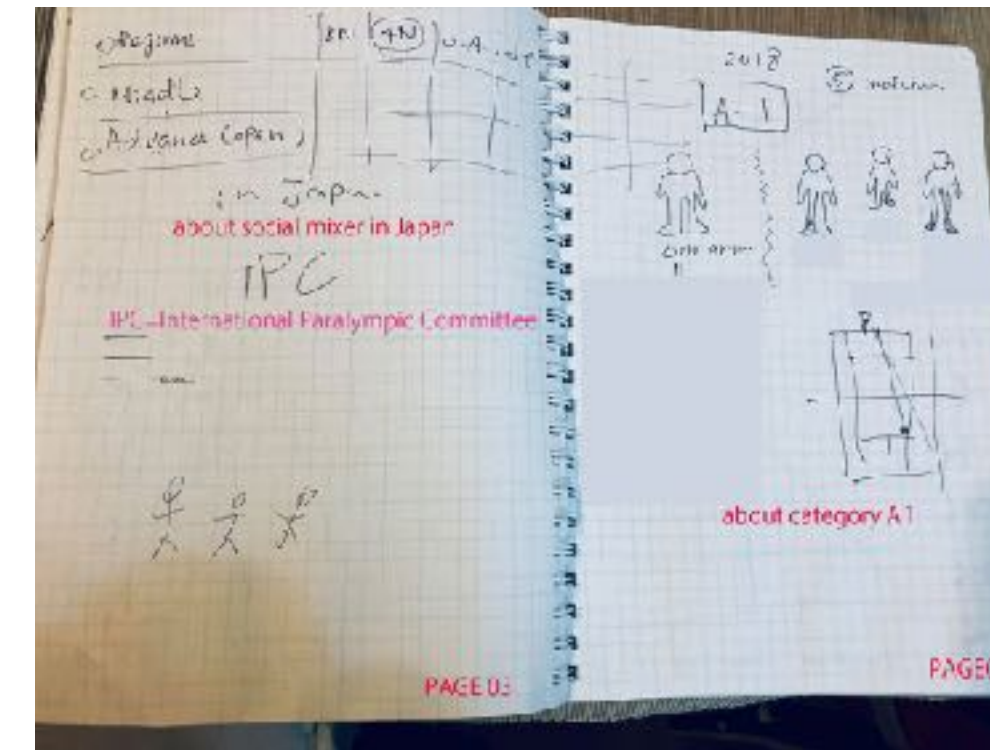
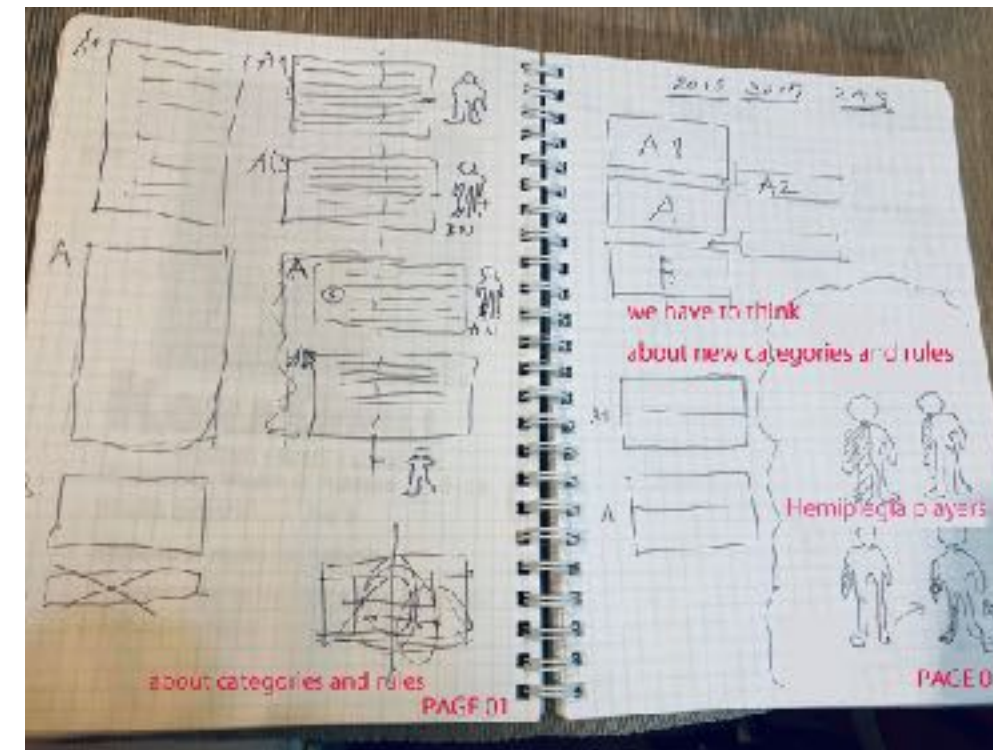
例

TAPジャパンオープンの開催について

- 1.-TAP World FederationはJASTAに金銭的要求を行わない
- 2.-JASTAは、TAP World Federationの会長兼ディレクターの飛行機代と宿泊費を負担しない
- 3.-JASTAは「TAP World Tour」の文字とロゴを無償で使用可能
- 4.-TAP World Federationは、TAP Japan Openの結果をTAP World Tourポイントランキングに反映する
- 5.-TAPジャパンオープンの使用コートはオムニコートで良い
- 6.-JASTAは、TAPジャパンオープンに参加する選手達の飛行機代および宿泊費を負担しない。
- 7.-TAPジャパンオープンのカテゴリーとルールは、TAP US オープン2017と2018に準じる
- 8.-カテゴリーCは必ず開催する必要はない
- 9.-大会使用球はITF承認球とする
- 10.-大会開催期間中の昼食は選手に無償で提供される事
- 11.-各カテゴリーで1位と2位を表彰する
- 12.-TAP World Federationは、大会申し込みが開始された後、カテゴリーが不明な新しい選手を動画で判断する
- 13.-オリンピック・パラリンピックの開催年は、オリンピック・パラリンピックの開催国が優先される
- 14.-アジアの国で国際大会が開催される場合、その前後の各国際大会は4か月間のインターバルが必要
- 15.-国際大会は年に4回開催されます。 各国際トーナメントには3か月期間のインターバルが必要

#10.- 参考

1から # 9は、TAP World FederationとJASTAが2016年、2017年、2018年にヒューストンで話し合ったものです。



Members of the board of the director of TAP World Tour



Name: Harald Von Koch
Country: Sweden
Position: In charge of the development in Europe



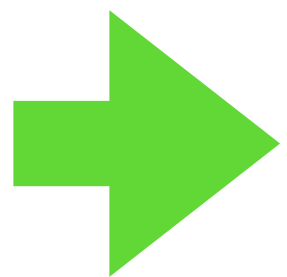
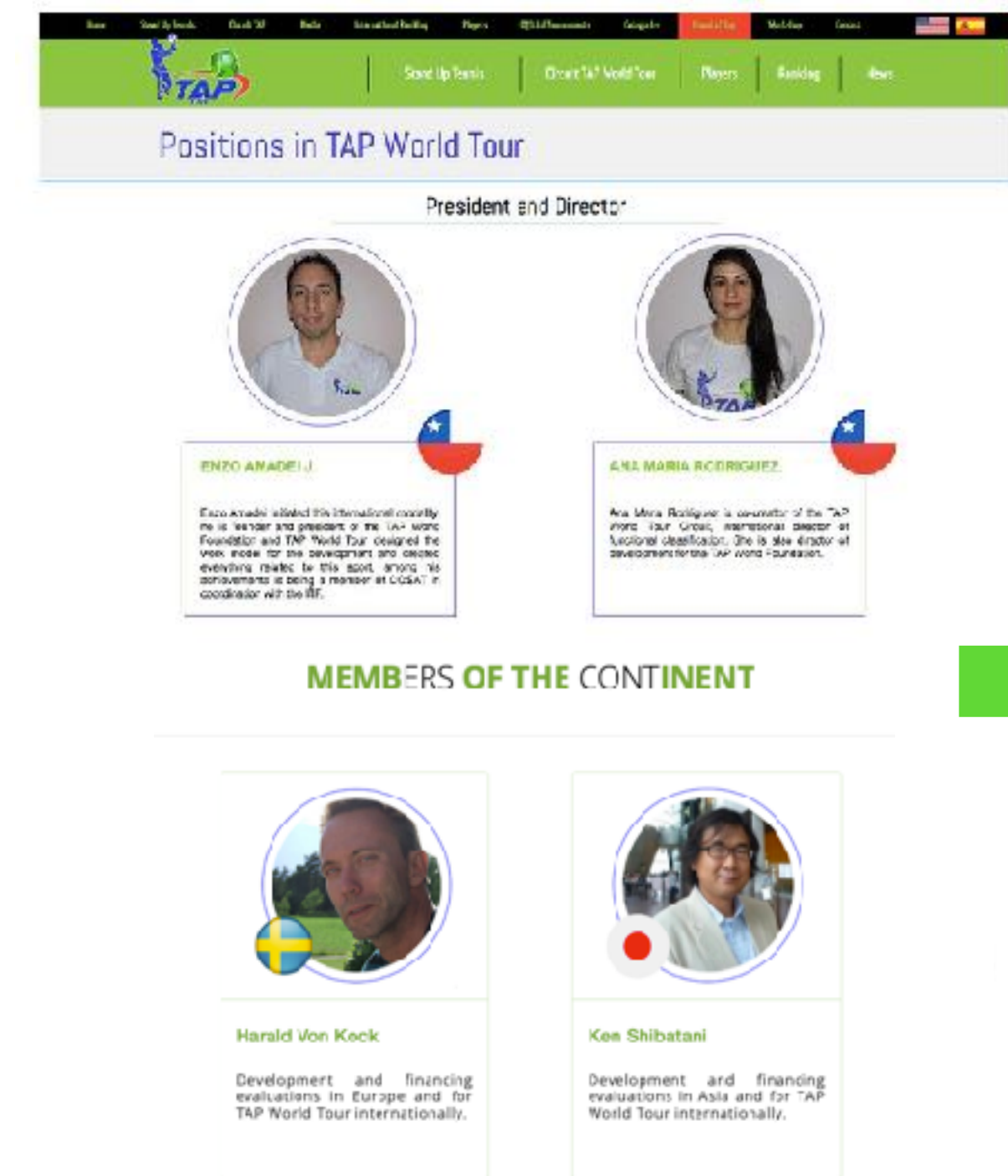
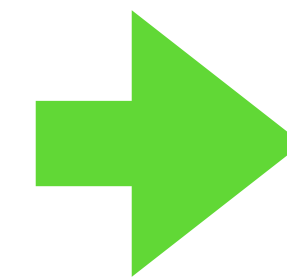
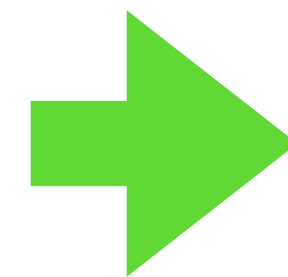
Name: Roberto de Souza
Country: Brazil
Position: In charge of the development in South America



Name: Jeff Bourns
Country: United States
Position: in charge of the development in North America



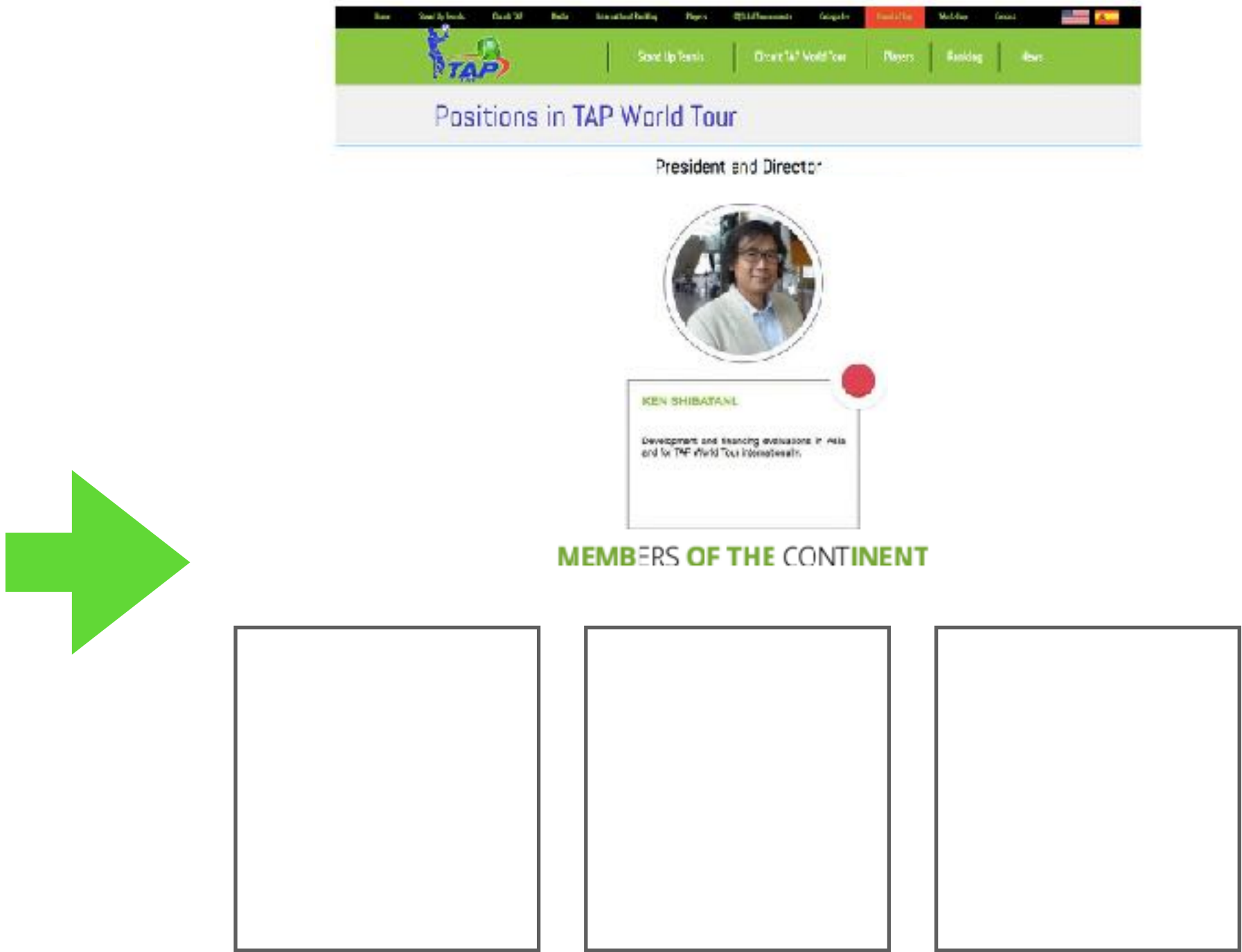
Name: Takeshi Shibatani
Country: Japan
Position: In charge of the development in Asia.



2018年1月時点のTAPワールドツアーの理事

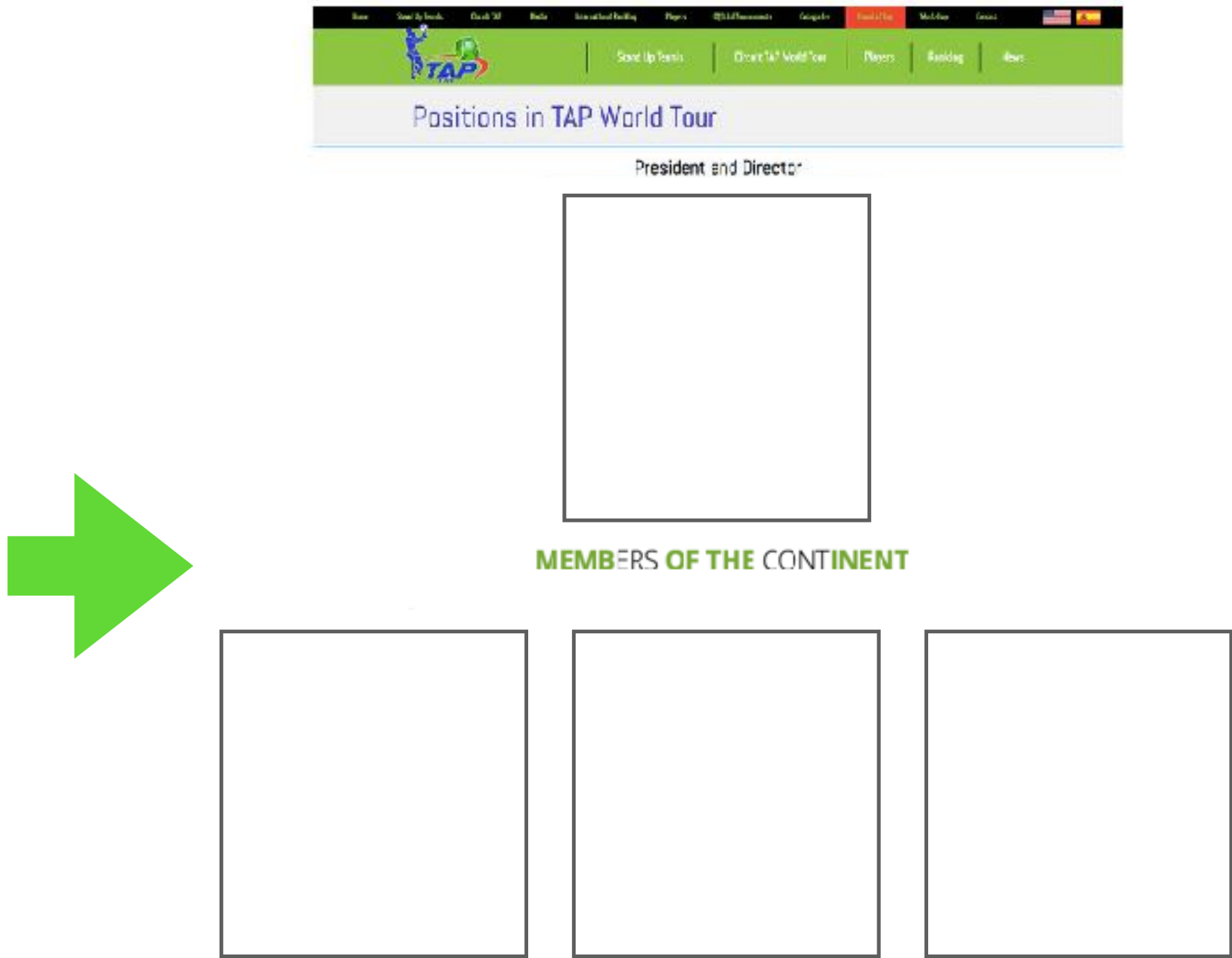
2018年8月時点のTAPワールドツアーの理事

2019年5月時点のTAPワールドツアーの理事



2019年12月のTAPワールドツアーの組織

2020年6月から新体制でスタートする予定でした



2020年1月から現在までのTAPワールドツアーの組織

さまざまな理由により、柴谷健は2020年1月に代表理事の内定を断りました



The new executive director of TAP World Tour: Ken Shibatani

From: 15/06/2020

2020年6月から新体制でスタートする予定でした

さまざまな理由により、柴谷健は2020年1月に代表理事の内定を断りました



Basic rules of TAP World Tour 2020

Who participate: - amputation, hemiplegic, hemiparesis, congenital malformation, cerebral palsy, other. (Not cognitive and degenerative)

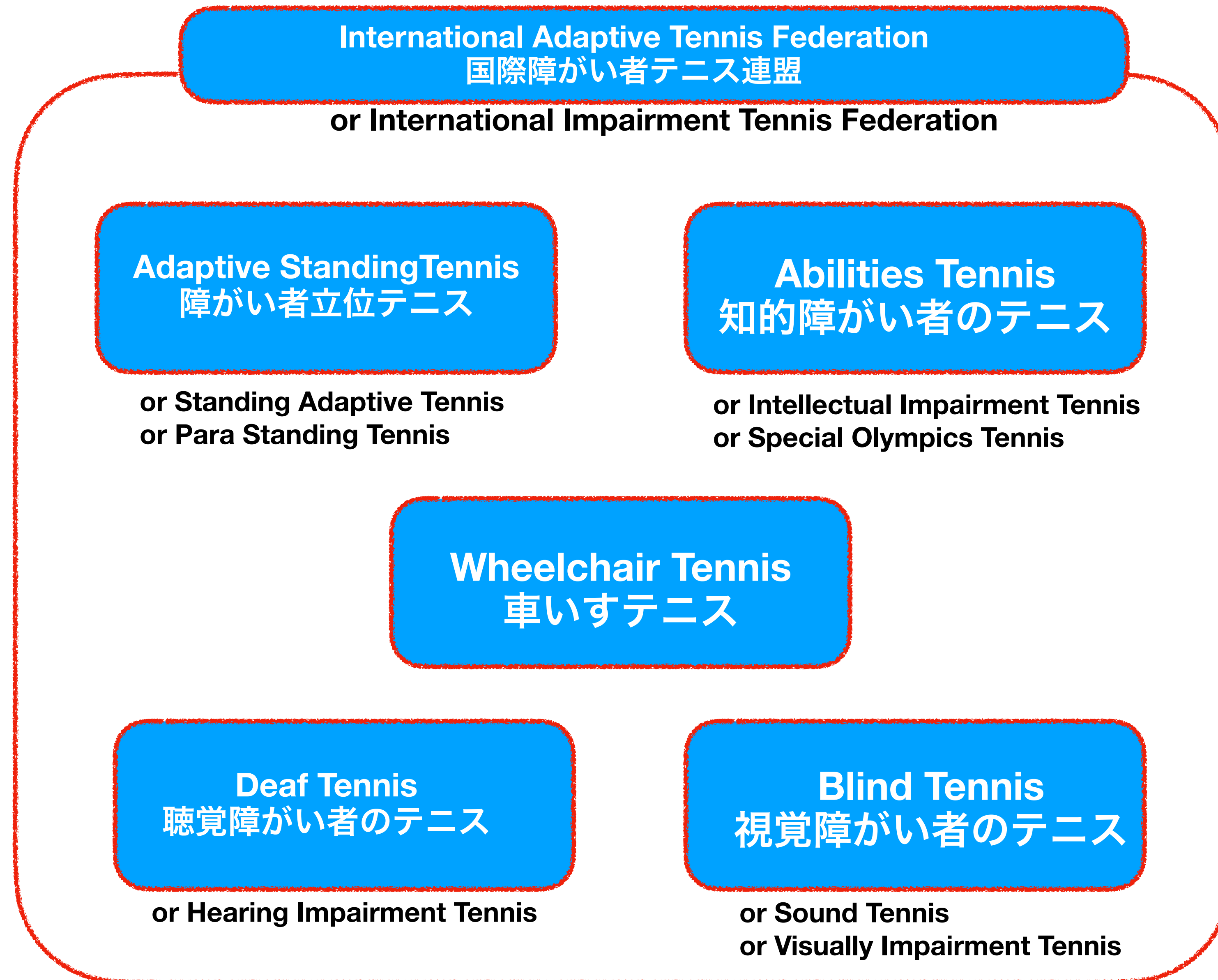
- 1.-) All international tournaments will have a score of 2.000 points. The format according to the sets will depend on each tournament.
- 2.-) The maximum number of international tournaments will be 3 per year so that they are properly organized during the 4 months between tournaments.
- 3.-) The proposal to hold an international tournament in any country should be sent to the executive director of TAP World Tour so the corresponding application to be completed is sent.

Basic rules of TAP World Tour 2020

Who participate: - amputation, hemiplegic, hemiparesis, congenital malformation, cerebral palsy, other. (Not cognitive and degenerative)

- 1,-) All international tournaments will have a score of 2,000 points. The format according to the sets will depend on each tournament.
- 2,-) The maximum number of international tournaments will be 3 per year so that they are properly organized during the 4 months between tournaments.
- 3,-) The proposal to hold an international tournament in any country should be sent to the executive director of TAP World Tour so the corresponding application to be completed is sent.

11.-今後の国際障がい者テニスについて



Five Impairment tennis associations should work together in each country.

12.-補足情報

国際大会で「TAP World Tour」とロゴマークを使用することはお勧めしません。
「TAP Tour」と「TAP International Tour」は大丈夫です。

1.- 「TAP World Tour」 はアメリカで商標登録されていました

JUSTIA Trademarks

Find a Lawyer Ask a Lawyer Research the Law Law Schools Laws & Regs Newsletters Legal Marketing

Justia Trademarks Categories Education and entertainment TAP WORLD TOUR Trademark Details

TAP WORLD TOUR - Trademark Details

Status: 700 - Registered

TAP World Tour

Serial Number	87186899
Registration Number	5413807
Word Mark	TAP WORLD TOUR
Status	700 - Registered
Status Date	2018-02-27
Filing Date	2016-09-28
Registration Number	5413807
Registration Date	2018-02-27
Mark Drawing	4000 - Standard character mark Typeset
Published for Opposition Date	2017-04-25
Attorney Name	David M. Shariff, Esq.
Law Office Assigned Location Code	N10
Employee Name	CROWLEY, PAUL C

CURRENT SEARCH

BRAND:TAP World Tour ✕

1 - 30 / 137,651

TMview

Display: 30 per page options

	Brand	Source	Status	Relevance	Origin	Holder	Number	App. Date	Image Class	Nice Cl.	Image
	TAP WORLD TOUR	US TM	Active	464	US	Enzo Amadei	87186899	2016-09-28		41	

2.- 「TAPTOUR」 ロゴマークは、有料画像でオリジナルありませんでした

✕

123RF

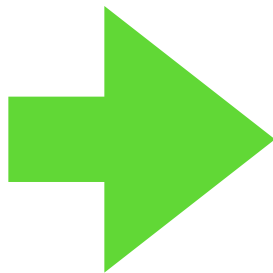
テニス プレーヤー、シルエット

\$0.70 USD* - ブランド: Svetlana Chetanova

123RF ストックフォト、ベクター、動画、オーディオ、1億点以上のクリエイティブ素材をひらめきやプロジェクトに。

最新の料金と在庫状況についてはウェブサイトを確認してください。画像は著作権で保護されている場合があります。 詳細

関連画像



#13.- Summary

柴谷 健は2020年6月にTAP WORLD TOURの内定されていた代表理事を辞退しました。

2020年と2021年の日本障がい者立位テニス協会（JASTA）の活動は、感染症流行の為に制限されました。

柴谷 健は、JASTAを立て直す為、アジアのTAP WORLD TOURの理事ではなく、TAP WORLD TOURの1人の選手に戻りました。

TAP ジャパン オープン 2022大会期間中、

JASTAは # 1から # 9の内容について選手会議開催を予定していました。

これらの内容については決定事項ではありません。

これらの内容は各選手の確認事項と各国の将来に向けての明確な目標とします。

それまでに、国内大会を充実させるために、各国で立位テニス選手を発掘して育成することを目標にしましょう。

次に、自国のテニス協会と自国のパラスポーツ協会の公式スポーツ種目になることを目標にしてください。

JASTAは障がい者立位テニスの国際大会の普及と発展に貢献してくださった皆様に敬意を表します。

このスポーツと一緒に広め、発展させたいと思います。

2025年5月に日本でお会いできることを楽しみにしております。

皆様のご健康をお祈り申し上げます。

ありがとうございます。

2022年5月

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

代表理事 柴谷 健